

## 1 趣 旨

千葉市立の小学校、中学校及び中等教育学校（前期課程に限る。）（以下「学校」という。）に在籍する常時介助が必要な児童生徒（以下「対象児童生徒」という。）の安全を確保するとともに、学級内の他の児童生徒の学習保障及び教員の負担軽減のために、学校に特別支援教育介助員（以下「介助員」という。）を配置する。

## 2 介助員の資格

資格は問わない。ただし、児童生徒の障害及び介助の必要性等に関する一定の知識及び本事業に対する意欲を有する者とする。

## 3 介助員の職務内容

介助員を配置する学校（以下「介助員配置校」という。）の校長、教頭、特別支援教育コーディネーター、担任教員その他関係教職員との連携のもと、以下の職務を行う。

- （１）対象児童生徒の食事、移動、着替え、排泄等の日常生活の介助・支援
- （２）対象児童生徒の安全確保のための見守り
- （３）その他、他の児童生徒の学習保障及び教員の負担軽減のために必要な措置

## 4 対象児童生徒

学校に在籍する児童生徒で、以下の要件のいずれかを満たし、特に障害が重く、又は重複しており、常時介助が必要で、校内の支援体制の工夫では対応が困難な状況にあるものとする。

- （１）肢体不自由であり歩行困難なため、転倒防止等の対応が頻繁であることが認められること。
- （２）肢体不自由や知的障害等が重複し、食事、移動、着替え、排泄等の指導・支援が頻繁に必要であること。
- （３）危険な行為及びパニックを起こす状態が継続しており、対応が頻繁に必要であること。
- （４）病弱、身体虚弱のため、安全面での配慮が頻繁に必要と認められること。

## 5 介助員配置等の決定

介助員の配置については、以下の手続きを行うものとする。なお、更新にあっても同様とする。

- （１）介助員の配置を希望する校長は、教育委員会に対し、特別支援教育介助員配置申請書と特別支援教育介助員配置チェックリストを提出する。
- （２）教育委員会は、（１）で規定する申請書等の提出を受けた場合、関係者と協議を行い、配置校を決定するものとする。
- （３）教育委員会は、配置を決定した校長に対し、特別支援教育介助員配置実施通知書を送付する。
- （４）配置が決定した校長は、特別支援教育介助員配置に係る同意書を教育委員会に提出する。

## 6 配置期間

配置期間は、当該年度内において、対象児童生徒の行動の改善及び校内の支援体制の整備に必要な期間とする。ただし、対象児童生徒及び介助員配置校の状況に応じて、更新することができるものとする。

## 7 指揮監督

教育委員会は介助員配置校の校長と連携して、介助員の指揮監督に当たるものとする。

## 8 支援内容・派遣期間の変更及び辞退

支援内容及び配置期間の変更希望がある場合、介助員配置校の校長は速やかに教育委員会に対し特別支援教育介助員内容等変更届を提出するものとする。

介助員の配置を辞退しようとするとき、介助員配置校の校長は速やかに教育委員会に対し特別支援教育介助員配置辞退届を提出するものとする。

## 9 実施報告

介助員配置校の校長は、配置期間中毎月末に教育委員会に対し、特別支援教育介助員配置実施報告書を提出し、報告するものとする。

## 10 介助員サポーター

介助員の更なる質の向上のため、介助員配置校を巡回し、指導・支援をする。また、宿泊学習や校外学習へ同行をし、介助をする。

(1) 資格は介護福祉士、特別支援学校・特別支援学級での介助経験者等とする。

(2) 職務は巡回訪問による助言、介助員研修の計画立案、宿泊を含む校外学習への同行。

## 11 補則

この要項に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

### 附 則

この要項は、平成27年4月1日から施行する。

### 附 則

この要項は、平成28年4月1日から施行する。

### 附 則

この要項は、平成31年4月1日から施行する。

### 附 則

この要項は、令和4年4月1日から施行する。

### 附 則

この要項は、令和7年4月1日から施行する。

以下削除

| 様式 | 様式名                  |
|----|----------------------|
| 1  | 特別支援教育介助員配置申請書校長     |
| 2  | 特別支援教育介助員配置チェックリスト校長 |
| 3  | 特別支援教育介助員配置実施通知書校長   |
| 4  | 特別支援教育介助員配置に係る同意書校長  |
| 5  | 特別支援教育介助員内容等変更届校長    |
| 6  | 特別支援教育介助員配置辞退届校長     |
| 7  | 特別支援教育介助員配置実施報告書校長   |

特別支援教育介助員配置申請書

提出日

令和

年

月

日

学 校 名

千葉市立

小学校

TEL

所 在 地

〒

—

千葉市

区

最 寄 駅

最寄りの駅・バス停から徒歩（

）分

対象児童

イニシャル

男 ・ 女

年

組

（

特別支援学級）

治  
療  
・  
相  
談  
歴

医師診断名

医療機関名

治療や相談、  
訓練を受けた  
時期、場所及  
び内容等の  
概況

手

身 体 障 害

交  
付

年

月

障  
害  
内  
容

帳

療 育

交  
付

年 月  
更新  
年 月

現  
在  
の  
状  
況

配置要件

（１）

（２）

（３）

（４）

※ 該当する項目にすべて○をつけてください。

（①子どもの状況 ②どんな介助が必要か ③校内支援体制の状況、個別の指導計画 等を含めて記述）

学校長意見

学校長氏名

保護者の承諾

有 ・ 無

（

）

## 1 介助員チェックリスト 28

( ) 小学校 ( ) 年 男・女  
イニシャル ( )

## 特別支援教育介助員配置チェックリスト

様式2

A: 9点以上  
B: 8点～4点  
C: 3点以下

|           | 観 点        | 点                                      | チェック                                | 点                       | チェック                                   | A | B | C               | 配 置 規 準                          |
|-----------|------------|----------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------|----------------------------------------|---|---|-----------------|----------------------------------|
| 学 習       | 2 言 語      | 10                                     | 1.人の声に反応しない                         |                         |                                        |   |   |                 | ○発語なし                            |
|           | (音 声)      | 9                                      | 2.ア－ア－等の声を出す                        |                         |                                        |   |   |                 | ○言葉で自分の要求を伝えられない                 |
|           |            | 4                                      | 3.発音不明瞭はあるが単語が言える                   | 4                       | 3.単語や名前が言える                            |   |   |                 |                                  |
|           |            | 2                                      | 4.発音不明瞭はあるが簡単な文で伝えられる               | 3                       | 4.簡単な文章で話ができる                          |   |   |                 |                                  |
|           |            | 1                                      | 5.簡単な文章で、聞きとりやすく伝えられる               | 1                       | 5.年齢相応に話ができる                           |   |   |                 |                                  |
|           | 3 文 字      | 10                                     | 1.興味を示さない                           | 5                       | 1.50音が完全に読める                           |   |   |                 |                                  |
|           |            | 9                                      | 2.興味はあるが、まだ読めない                     | 4                       | 2.単語が読める                               |   |   |                 |                                  |
|           |            | 8                                      | 3.自分の名前は読める                         | 3                       | 3.単語が書ける                               |   |   |                 |                                  |
|           |            | 7                                      | 4.自分の名前が書ける                         | 2                       | 4.簡単な文が書ける                             |   |   |                 |                                  |
|           |            | 6                                      | 5.50音がいくらか読める                       | 1                       | 5.年齢相応の文が書ける                           |   |   |                 |                                  |
|           | 4 数 量      | 10                                     | 1.興味を示さない                           | 1                       | 1.繰り上がり、繰り下がりの計算ができる                   |   |   |                 |                                  |
|           |            | 9                                      | 2.具体物のある・ないがわかる                     | 1                       | 2.かけ算ができる                              |   |   |                 |                                  |
|           |            | 8                                      | 3.具体物なら3こ程度まで数えられる                  | 1                       | 3.わり算ができる                              |   |   |                 |                                  |
|           |            | 8                                      | 4.具体物なら10こ程度まで数えられる                 | 1                       | 4.文章題などを解くことができる                       |   |   |                 |                                  |
|           |            | 1                                      | 5.1位数の計算ができる                        | 1                       | 5.年齢相応に数量の計算ができる                       |   |   |                 |                                  |
| 5 指 示 理 解 | 10         | 1.簡単なものでも意味理解ができない                     | 10                                  | 1.要求を伝えられない             |                                        |   |   | ○言葉での指示が理解できない。 |                                  |
|           | 9          | 2.制止のこば(態度)なら理解できる                     | 8                                   | 2.指さしや身振りで要求を伝える        |                                        |   |   | ○言葉での制止に従えない。   |                                  |
|           | 8          | 3.日常生活上の簡単な指示は理解できる                    | 3                                   | 3.言葉で要求を伝えられる           |                                        |   |   |                 |                                  |
|           | 5          | 4.多少複雑な指示でも理解できることがある                  |                                     |                         |                                        |   |   |                 |                                  |
|           | 1          | 5.年齢相応に指示を理解し反応できる                     |                                     |                         |                                        |   |   |                 |                                  |
|           | 観 点        | 点                                      | チェック                                | 点                       | チェック                                   | A | B | C               | 配 置 規 準                          |
| 生 活       | 6 食 事      | 10                                     | 1.一人では食べようとしない(一人では全く食べられない)        | 3                       | 6.時間がかかるが一人で食べ終える                      |   |   |                 | ○自力では食べ終えることができない。               |
|           |            | 8                                      | 2.食べる気はあるが遊んでしまう(補助や調理の方法に工夫が必要である) | 2                       | 7.偏食が多い                                |   |   |                 | ○咀嚼が不十分、飲み込みが不完全で見守りが必要。         |
|           |            | 5                                      | 3.促せば食べ終えることができる(一部補助すれば一人で食べられる)   | 1                       | 8.年齢相応に食事がとれる                          |   |   |                 |                                  |
|           |            | 5                                      | 4.手づかみが多い                           | 1                       | 9.スプーンとフォークを使う                         |   |   |                 |                                  |
|           |            | 4                                      | 5.食事中に立ち歩く                          | 1                       | 10.箸を使う                                |   |   |                 |                                  |
|           | 7 着 衣      | 10                                     | 1.一人では全く着られない                       | 3                       | 4.完全ではないが一人で着られる                       |   |   |                 | ○自力では時間がかかっても、着替を終えることができない。     |
|           |            | 7                                      | 2.手伝えば着ることができる                      | 1                       | 5.年齢相応に身につけることができる                     |   |   |                 |                                  |
|           |            | 5                                      | 3.少し手伝えば着ることができる                    |                         |                                        |   |   |                 |                                  |
|           | 8 排 泄      | 10                                     | 1.全面介助が必要である                        | 10                      | 1.定時に排泄しなければ、失敗してしまう。                  |   |   |                 | ○排泄のサインがなく、定時に連れて行かなければ失敗してしまう。  |
|           |            | 8                                      | 2.大部分介助が必要である                       | 8                       | 2.排泄のサインがない。                           |   |   |                 | ○排泄の動作が一人ではできない。                 |
| 安 全       | 9 安 全      | 10                                     | 1.常時一対一の保護が必要である                    | 10                      | 1.物や衣類を壊す                              |   |   |                 | ○校外への飛び出し、高所など危険な場所の認識がなくなってしまう。 |
|           |            | 7                                      | 2.常時特別な注意が必要である                     | 9                       | 2.不潔行為                                 |   |   |                 |                                  |
|           |            | 5                                      | 3.保護と注意が必要である                       | 9                       | 3.異食行動                                 |   |   |                 |                                  |
|           |            | 1                                      | 4.声かけ等の注意が必要である                     |                         |                                        |   |   |                 |                                  |
|           |            | 1                                      | 5.年齢相応に安全な行動がとれる                    |                         |                                        |   |   |                 |                                  |
|           | 11 動 き     | 10                                     | 1.目を離すと必ずどこかへ行ってしまう                 | 10                      | 1.突発的な行動                               |   |   |                 | ○常に手が離せない。                       |
|           | (多 動)      | 8                                      | 2.目の届く範囲で動き回る                       | 10                      | 2.他人を傷つける行為                            |   |   |                 |                                  |
|           |            | 7                                      | 3.指示により一時動き回らなくなる                   | 9                       | 3.強いこだわり                               |   |   |                 |                                  |
|           |            | 1                                      | 4.落ちつきはないが、立ち歩くことはない                |                         |                                        |   |   |                 |                                  |
|           |            | 1                                      | 5.多動の様子は見られない                       |                         |                                        |   |   |                 |                                  |
|           | 観 点        | 点                                      | チェック                                | 点                       | チェック                                   | A | B | C               | 配 置 規 準                          |
| 対 人       | 1 遊 び      | 10                                     | 1.あやしても笑わない                         | 5                       | 1.大人のやっていることを見て、まねをする                  |   |   |                 | ○危険で、周りに迷惑な遊びが止められない。            |
|           |            | 10                                     | 2.あやされるのを喜ぶ                         | 4                       | 2.電話ごっこ等の見立て遊びを好む                      |   |   |                 |                                  |
|           |            | 10                                     | 3.自分の手や足をいじって遊ぶ                     | 3                       | 3.おもちゃ等を使って友人と遊ぶ                       |   |   |                 |                                  |
|           |            | 9                                      | 4.物を落とす。水あそび等を好む                    | 3                       | 4.大きな動きのある遊びを好む                        |   |   |                 |                                  |
|           |            | 6                                      | 5.友だちのやっていることに加わろうとする               | 1                       | 5.年齢相応の遊びに興味がある                        |   |   |                 |                                  |
|           | 10 対 人 関 係 | 10                                     | 1.人に興味・関心を示さない                      | 1                       | 4.なんとか誰とも関わりがもてる                       |   |   |                 | ○特定の人のしか、受け入れられない。               |
|           |            | 7                                      | 2.特定の人なら時々関わりがもてる                   | 1                       | 5.誰とも関わりがもてる                           |   |   |                 | ○大人としか関係が取れない。                   |
|           |            | 5                                      | 3.特定の人ならいつも関わりがもてる                  |                         |                                        |   |   |                 |                                  |
|           | 12 集 団 参 加 | 8                                      | 1.いつも一人でいることが多い                     | 5                       | 1.小さな集団でもはざれることが多い                     |   |   |                 | ○人への関心が乏しく、活動には常の大人のかかわりが必要である。  |
|           |            | 5                                      | 2.他の子に働きかけることがある                    | 4                       | 2.小さな集団に参加し活動できる                       |   |   |                 |                                  |
|           | 5          | 3.気が向けば仲間に入る                           | 2                                   | 3.なんとか大きな集団にもいられる       |                                        |   |   |                 |                                  |
|           | 5          | 4.特定の集団なら活動できる                         | 1                                   | 4.周囲の様子を見ながら大きな集団にもいられる |                                        |   |   |                 |                                  |
|           |            |                                        | 1                                   | 5.大きな集団でも十分に活動できる       |                                        |   |   |                 |                                  |
|           | 観 点        | 点                                      | チェック                                | 点                       | チェック                                   | A | B | C               | 配 置 規 準                          |
| 障 害       | 13 移 動     | 10                                     | 1.首がずわっていない                         | 10                      | 1.ほとんど寝て過ごしている                         |   |   |                 | ○車いす使用で、自力で車いすを動かさせない。           |
|           | (歩行等)      | 10                                     | 2.寝がえり、よつばい等ができる                    | 9                       | 2.不安定だが自分で動き回ろうとする                     |   |   |                 |                                  |
|           |            | 9                                      | 3.つたい歩きや補助があれば歩ける                   | 8                       | 3.屋内ならば自力で移動できる                        |   |   |                 |                                  |
|           |            | 9                                      | 4.補助があれば屋外でも歩ける                     | 5                       | 4.補助等があれば屋外でも自力移動できる                   |   |   |                 |                                  |
|           |            | 1                                      | 5.年齢相応に補助なしで移動できる                   | 1                       | 5.移動等で問題となる点は見られない                     |   |   |                 |                                  |
|           | 14 視 覚     | 10                                     | 1.光覚なし、または光覚のみ                      | 6                       | 4.日常生活はできるが、学習には支障がある(眼位異常・視野障害・夜盲など)  |   |   |                 | ○見えない、またはほとんど見えない。               |
|           |            | 10                                     | 2.手の動きや指の本数がわかる                     | 1                       | 5.問題はない(眼鏡などで良好な矯正視力が得られる)             |   |   |                 |                                  |
|           |            | 8                                      | 3.矯正しても日常生活で見えにくさがある弱視である           |                         |                                        |   |   |                 |                                  |
|           | 15 聴 覚     | 10                                     | 1.全く音や声を感じることができない(補聴器を装着しても困難)     | 3                       | 4.普通の声の大きさと半分程度聴きとれる(補聴器を装着すればほぼ聴きとれる) |   |   |                 | ○聞こえない。                          |
|           |            | 8                                      | 2.大声は少し聴きとれる(補聴器を装着すれば少し聴きとれる)      | 1                       | 5.問題はない(補聴器を装着すれば完全に聴きとれる)             |   |   |                 |                                  |
|           | 5          | 3.普通の声の大きさと少し聴きとれる(補聴器を装着すれば半分程度聴きとれる) |                                     |                         |                                        |   |   |                 |                                  |

その他、特記事項があれば、余白に書いてください。

(様式3)

令和 年 月 日

千葉市立 小学校長 様

養護教育センター所長

令和 年度 特別支援教育介助員配置の決定について（通知）

このことについて、検討の結果、貴校の対象に特別支援教育介助員を配置することが決定しましたのでお知らせします。

なお、下記により介助員ご本人と連絡を取っていただき、配置を進めていただくようお願いいたします。

記

- 1 対象児童名 □年 △△さん
- 2 配置期間 令和 年 月 日（ ）～ 令和 年 月 日（ ）
- 3 勤務日数及び時間 週○日 ○○時間
- 4 勤務兼務校 ○○小学校
- 5 介助員氏名 ○○ ○○ さん  
電話番号 — —
- 6 その他
  - ①対象児童の保護者に対し、学校から介助員配置が決定されたことについてお伝えください。
  - ②介助員は原則2校に勤務しますので、勤務日については相手校と調整してください。
  - ③今月中に介助員さんと連絡をとり、打合せをしてください。打合せは、兼務校と一緒にいけるよう調整してください。
  - ④詳しい手続等に関しましては、別途お知らせいたします。
  - ⑤ご不明な点については、担当までお問い合わせください。

担当

電話 277-0101

(様式4)

## 特別支援教育介助員の配置に係る同意書

|            |                                                                                                                            |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 介助の内容      |                                                                                                                            |
| 配置する期間     | 令和    年    月    日    ～    令和    年    月    日                                                                                |
| 配置する曜日及び時間 | (    ) 曜日    午前    時    分～午後    時    分<br>(    ) 曜日    午前    時    分～午後    時    分<br>(    ) 曜日    午前    時    分～午後    時    分 |
| 介助員名       |                                                                                                                            |

○ 介助の内容は、介助員配置申請書（様式1）に沿って提供いたします。

○ 介助員が配置できない日は、対象児童の保護者又は在籍校職員で対応します。

上記の内容について十分な説明を受け内容を理解したので、介助員の配置に同意いたします。

同意日    令和    年    月    日

学 校 名 .....

校 長 名 .....

(様式5)

令和 年 月 日

千葉市教育委員会 様

千葉市立 小学校  
校長

介助内容変更届

対象児童の介助について、内容等の変更がありましたので、下記のとおり依頼します。

記

1 対象児童名 千葉市立\_\_\_\_\_小学校 \_\_\_\_年 \_\_\_\_\_児童氏名\_\_\_\_\_

2 変更する介助の内容

|  |
|--|
|  |
|--|

(様式6)

平成 年 月 日

千葉市教育委員会 様

千葉市立 小学校  
校長

### 介助員配置辞退届

対象児童の介助員配置につきまして、下記の理由により辞退をお願いします。

#### 記

1 対象児童名 千葉市立\_\_\_\_\_小学校 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_児童氏名\_\_\_\_\_

2 辞 退 理 由

|  |
|--|
|  |
|--|

平成 年 月 日

千葉市教育委員会 様

千葉市立 小学校  
校長

特別支援教育介助員配置事業実施報告書

1 対象児童名 年 児童氏名

2 実施する介助の内容

|  |
|--|
|  |
|--|

3 配置介助員

|            |  |
|------------|--|
| 特別支援教育介助員名 |  |
|------------|--|

| 配置日 | 配置時間 | 配置日 | 配置時間 |
|-----|------|-----|------|
|     |      |     |      |
|     |      |     |      |
|     |      |     |      |
|     |      |     |      |
|     |      |     |      |

4 児童の様子

※ 介助を要する状況の様子等